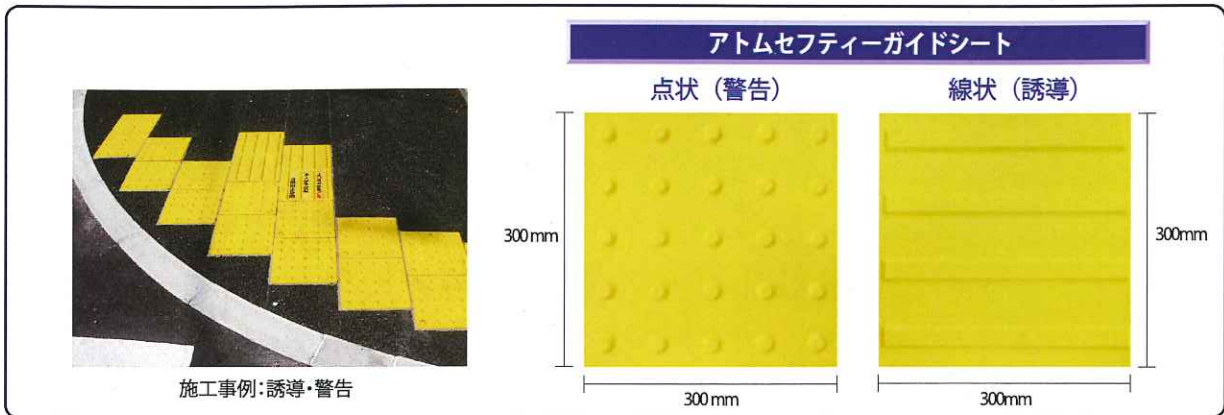


アトムセフティーガイドシート

鉛・クロムフリー
MMA樹脂製



アトムセフティーガイドシートの特長

- ① **タイル調仕上げ** 施工路面の舗装切断および掘削を必要とせず、少ない建設副産物でタイル調仕上げにできます。また、接着材による成型シート貼り付けは経年劣化によるガタつき等が発生しにくくなります。
- ② **JIS対応品** JIS T 9251対応品：MMA樹脂製の成型シートであり、均一な突起の高さと形状が得られます。
- ③ **工期短縮** 工程短縮：速乾型接着材を使用しており交通開放が早く、作業工程が少ないです。
- ④ **耐久性に優れる** セラミック骨材とメッシュ補強により耐久性に優れます。また接着材も同じMMA樹脂を使用しており、成型シートと一体化して剥離・突起離脱を生じないため、誘導機能を失いません。
- ⑤ **特殊な工具不要** 特殊な施工器具を必要としないため、人通りの多い場所や狭い場所でも容易に作業できます。
- ⑥ **安全・安心** 突起部とベース部に滑りにくい表面加工をしております（湿潤時：63BPN値）。

製品荷姿

製品名	種類	サイズ	色	荷姿
アトムセフティーガイドシート	誘導・警告	300mm×300mm	レモンイエロー	段ボール箱 (20枚入り)

製品名	種類	荷姿
アトムセフティーガイドボンド	クリヤー 13.6 kgセット	主剤 4 kg：骨材 4.8 kg × 2 袋 【配合比】主剤 1：骨材 2.4
	クリヤー 6.8 kgセット	主剤 2 kg：骨材 4.8 kg × 1 袋 【配合比】主剤 1：骨材 2.4
	硬化剤 450 g	225 g × 2 パック / 段ボール
	硬化剤 150 g	50 g × 3 パック / 段ボール

施工事例



誘導・警告



ボンド塗布

**開粒・排水性舗装面シート20枚
施工における13.6kgセット例**



**密粒舗装面シート20枚
施工における6.8kgセット例**



施工仕様例

舗装の種類		工程	製品名	使用量(シート1枚あたり)					
1	既設密粒舗装	1	接着材	アトムセフティーガイドボンド	主剤	骨材	硬化剤		
					0.1kg	0.24kg	2.5g~15g		
		2	シート	アトムセフティーガイドシート	1枚				
2	排水性、透水性、開粒舗装 インターロッキング舗装 粗面な舗装	1	下地調整	アトムセフティーガイドボンド	主剤	骨材	硬化剤		
					0.1kg	0.24kg	2.5g~15g		
		2	接着材	アトムセフティーガイドボンド	主剤	骨材	硬化剤		
							0.1kg	0.24kg	2.5g~15g
		3	シート	アトムセフティーガイドシート	1枚				

※使用量は標準量であり、舗装の表面状態により変わることがあります。
※コンクリート舗装やタイルなどのご不明点がございましたら、弊社までお問合せください。

密粒舗装面の施工工程

1	下地処理	接着不良の原因となる舗装上の埃、油分、水分等を除去する。
2	作図	指定された図面に従って作図する。作図は、シートの両端部より10mmずつ出す。
3	マスキング作業	作図の外側を布粘着テープ等でマスキングする。
4	接着材塗布	主剤の缶天面を皮スキやVカッター等で開缶する。所定量の骨材を投入し、電動攪拌機で混合する。ここへ路面温度に見合った硬化剤を投入し、30秒ほど攪拌する。直ちにシート貼り付け面に接着材を流し延べて、コテ、ヘラ等を用いて均一にする。
5	シート貼り	塗布した未硬化状態の接着材に、空気を巻き込まないように片側から徐々にシートを貼り付ける。シートとシートは、5mm程度の間隔をとって貼り付ける。
6	シート圧着及び位置合わせ	シートの中心部から外側に空気を押し出すように、突起部とベース部の圧着を行う。その後、遠目で見て線形を確認しながら位置の修正を行う。 なお、シートと接着材の間に空気が入り除去できない場合、接着剤の硬化前に千枚通しや釘等の先が尖った道具で、空気の残存する箇所に穴をあけ、再び圧着する。
7	余剰接着材の処理(テーパー処理)	シートの接合部、またシート端部の余剰接着材は完全硬化の前に取り除く。路面のマスキング部からシート端部にかけて、滑らかな勾配を作るよう接着材を取り除く。
8	マスキング除去	余剰接着材を処理した後、マスキングを剥がす。その際、接着材をシート表面に垂らさないように注意する。
9	養生・開放	接着材の完全硬化後、交通開放する。シート表面に接着材が付着した場合は、サンドペーパー#80~#100で汚れをサンディングし、除去した後、交通開放する。

取扱い注意事項

- (1) 製品をご使用の際は、当販促物の他、製品本体記載の注意事項およびSDS(安全データシート)をよくお読みください。
- (2) 改良等のため、①製品の巾身、仕様、寸法 ②販促物の内容等は将来予告なしに変更する場合があります。
- (3) 当販促物に表示してあります使用量は、設計上の標準的な数値です。路面状態等によって増減する場合があります。
- (4) 製品本体および当販促物に記載されている定められた用途以外には使用しないでください。また、製品・仕様等につきましてご不明な点がございましたら、必ずご使用前に当社までお問い合わせください。

アトミクス株式会社

■道路事業部 〒174-8574 東京都板橋区舟渡3-9-6

☎(03)3969-1552(直通)

FAX (03)3968-7300

■営業部 〒174-8574 東京都板橋区舟渡3-9-6 ☎(03) 3969-1552(直通) FAX. (03) 3968-7300
 ■受注センター 〒346-0101 埼玉県久喜市高瀬町昭和26 ☎(0480) 85-3111(内線) FAX. (0480) 85-3112
 ■大阪支店 〒574-0053 大阪府大東市新田旭町2-22 ☎(072) 872-3111 FAX. (072) 872-1222
 ■札幌営業所 〒001-0014 札幌市北区北十四条西1-5-3(三井ビル403) ☎(011) 738-6070 FAX. (011) 738-6071
 ■仙台営業所 〒982-0011 仙台市太白区長町6-8-7(エイ1F) ☎(022) 249-7371 FAX. (022) 249-7372
 ■新潟営業所 〒950-0982 新潟市中央区堀之内南2-19-14(和合ビル) ☎(025) 244-8011 FAX. (025) 244-8012
 ■名古屋営業所 〒462-0043 名古屋市中区八代町1-9(北村ビル2F) ☎(052) 914-3900 FAX. (052) 916-0892
 ■広島営業所 〒739-1734 広島市安佐北区口田1-8-17(小夫家ビル) ☎(082) 845-2202 FAX. (082) 845-2203
 ■福岡営業所 〒812-0863 福岡市博多区金の隈1-33-31 ☎(092) 503-5200 FAX. (092) 503-5308
 ■久喜工場 〒346-0101 埼玉県久喜市高瀬町昭和26(久喜葛城工業団地内) ☎(0480) 85-7931 FAX. (0480) 85-3112
 ■岡山工場 〒708-1312 岡山県岡田郡赤松町赤松502-11(岡山工業団地内) ☎(0868) 36-7000 FAX. (0868) 36-7010
 ■加須工場 〒347-0017 埼玉県加須市南藤崎1-12-1(加須工業団地内) ☎(0480) 65-1159 FAX. (0480) 65-7146
 ●本社 〒174-8574 東京都板橋区舟渡3-9-6 ☎(03) 3969-3111(内線) FAX. (03) 3968-7300